

## 12月の天候

2021年（令和3年）12月の日本の天候は、寒暖の変動が大きくなりました。降水量は、北日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多くなりました。日照時間は、西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多くなりました。日本海側を中心に大雪となりました。

2021年（令和3年）12月の天候の特徴は以下のとおりです。

○寒暖の変動が大きくなりました

上旬から中旬は寒気の南下が弱かったため気温が平年を上回る日が多くなりましたが、下旬は強い寒気が南下して大きく気温が低下した時期があり、全国的に寒暖の変動が大きくなりました。

○降水量は、北日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多くなりました

降水量は、低気圧や前線の影響を受けやすかったため、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多くなりました。また、南から湿った空気が流れ込み大雨となった所もあったため、東日本太平洋側でかなり多くなりました。

○日照時間は、西日本太平洋側でかなり多くなりました

日照時間は、高気圧に覆われやすかったため、西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で多くなりました。また、上旬を中心に冬型の気圧配置となりにくかった北日本日本海側で多くなりました。

○日本海側を中心に大雪となりました

下旬を中心に強い寒気が南下したため、北・東・西日本では日本海側を中心に太平洋側の一部でも大雪となりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:601KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202112\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202112_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-6758-3900（内線 4268）  
大気海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）  
電話 03-6758-3900（内線 4547）